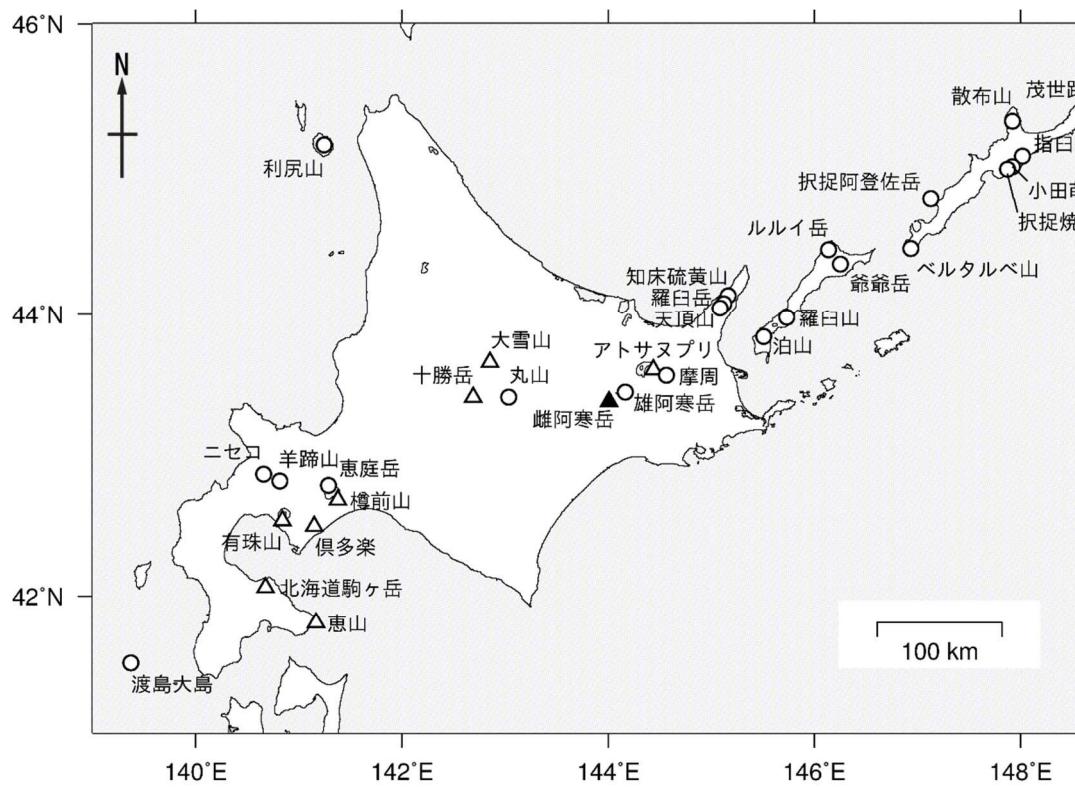


管内月間火山概況（令和8年1月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口 周辺規制）	雌阿寒岳
噴火予報	レベル1（活火 山あることに 留意）	アトサヌプリ、大雪山、十勝岳、樽前山、俱多楽、 有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山あるこ とに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、 丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、 茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、 ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例

噴火警戒レベル対象火山

▲：噴火警報発表中

△：噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山

●：噴火警報発表中

○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokujii.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所のデータも利用して作成しています。

次回の管内月間火山概況（令和8年2月分）は令和8年3月9日に発表する予定です。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

雌阿寒岳では、2025年10月26日以降噴火は観測されていません。

ポンマチネシリ火口付近では、2025年9月12日から観測されている火口方向が上がる傾斜変動が緩やかに続いていると想定されています。また、96-1火口の噴煙活動は引き続き活発です。火山活動の活発な状態が続いていると想定されています。ポンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

大雪山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

62-2火口、振子沢噴気孔群及びその周辺では引き続き噴煙・噴気が多く、熱活動が活発な状態が続いていると想定されています。今後の火山活動の推移には注意が必要です。

樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていると想定されています。突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

俱多楽 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。